

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	コンビニ（経営 企画担当）	来客数の動き	・夏休み期間中の好天により、飲料やアイスクリームの需要が高まり来客数が増加している。特に、観光客の来店が顕著に増えている。
	◎	家電量販店（営 業担当）	販売量の動き	・新たな省エネ基準の導入に伴う駆け込み特需と、それを後押しするおきなわ省エネ家電購入応援キャンペーンに加え、真夏日による需要がエアコンの販売実績を押し上げている。
	◎	その他飲食店 〔ファースト フード〕（総務 部）	来客数の動き	・観光客の増加と繁忙期の影響により、来客数と売上が増加している。
	○	百貨店（経営担 当）	販売量の動き	・お中元の受注が好調に推移している。
	○	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・今月は晴天に恵まれたことで、来客数と売上共に前年を上回る推移となっており、景気は引き続き好調に推移している。
	○	スーパー（店舗 管理）	来客数の動き	・支店間で差はあるものの、来客数は全体的に堅調で、イベント需要の効果もあり、来客数と客単価共におおむね好調に推移している。
	○	コンビニ（経営 者）	販売量の動き	・客単価は上昇したものの、購入量の減少により売上はわずかに減少している。
	○	コンビニ（店 長）	来客数の動き	・観光客の増加により来客数と客単価が向上している。値上げによる買い控えもみられるが、全体の景気はやや良いとみている。
	○	その他専門店 〔陶器〕（製 造）	販売量の動き	・客先からの注文が増えている。
	○	その他専門店 〔書籍〕（部 長）	販売量の動き	・夏休みに入り家族連れの来店が増えて消費が拡大したことで、商品の売上は前年比で5％程度増加している。
	○	一般レストラン （代表者）	来客数の動き	・梅雨明けによる好天で人出が増え、観光客もやや増加している。
	○	観光型ホテル （専務取締役）	来客数の動き	・来客数は日増しに回復し、夏場の繁忙期や好天の影響で数字も回復した。ホテル内の客の動きも活発で、プールも連日にぎわっている。
	○	通信会社（サー ビス担当）	販売量の動き	・店頭への来客数及び新規や乗換えの契約が増加傾向にあり、特に週末は家族連れや複数回線での乗換えを検討する客が増えている。
	○	観光名所（職 員）	来客数の動き	・インバウンドが増加している。
	□	商店街（代表 者）	お客様の様子	・飲食店は増加する一方で小売店は減少しており、客の動向に大きな変化は見られず、景気判断が難しい状況にある。
	□	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・客単価は上昇している一方、来客数は伸び悩んでいる。物価高による消費者の2極化や、格差の広がり等が影響しているとみられる。
	□	乗用車販売店 （経理担当）	お客様の様子	・イベントの来客数や客の動向も大きな変動はないため、景気は変わらないとみている。
	□	観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・暑さの影響により、予約動向は低調に推移している。
	□	旅行代理店（マ ネージャー）	販売量の動き	・販売量は前年並みだが、物価上昇により固定費が増加している。
	□	住宅販売会社 （役員）	来客数の動き	・金利上昇に伴い中古住宅の問合せは減少傾向にある一方、企業の店舗拡張に伴う問合せが増加しており、全体としては横ばいで推移している。
	▲	乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・新車の注文は前年比7割にとどまり、来客数も減少しているため、厳しい状況が続いている。
	▲	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・4月の販売室数が前年比26％増加に対し、7月は前年比18％増加で、プラス幅が小さくなっている。
	▲	通信会社（営業 担当）	それ以外	・同業他社との情報共有では、各社とも業況は低調に推移していると感じている。

	×	その他飲食店 〔バー〕（経営者）	来客数の動き	・1日当たりの平均客数及び団体客数が減少しているほか、仕事帰りの飲食利用も減少しており、厳しい状況となっている。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	食料品製造業 （総務部）	受注価格や販売 価格の動き	・取引先との取引条件の改善により、損益状況はやや良化している。
	○	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・受注案件増加に伴い増産を予定しており、来月以降は売上増加が見込まれる。
	○	輸送業（経営企画部）	それ以外	・燃料費は大幅な変動がなく、安定した水準で推移している。
	□	建設業（経営者）	それ以外	・引き合いは継続しているが、受注は想定を下回っている。
	□	通信業（総務）	それ以外	・夏の観光需要により景況感はやや好調だが、物価上昇による生活負担は続いている。
	□	会計事務所（所長）	それ以外	・為替動向や物価上昇が生活に及ぼす影響の程度は不透明であり、現時点では見極めが難しい状況にある。
	▲	—	—	—
	×	*	*	*
	◎	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 （総務担当）	採用者数の動き	・求職者数は増加しているが、求人とのマッチングは伸び悩んでいる。
	□	求人情報誌製作 会社（審査）	求人数の動き	・接客サービスやドライバー関連の求人は増加している一方、その他の業種は減少傾向にある。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年比で求人数は減少している。
	□	学校〔大学〕 （就職支援担当）	それ以外	・インフレは当面続くとみられる。
	▲	学校〔専門学校〕 （就職担当）	採用者数の動き	・A I の普及に伴い、新卒採用人数を当初計画より縮小する企業が増えている。2027年3月卒業予定者については、I T 企業からの求人問合せも減少している。
	×	—	—	—
	×	—	—	—